

商品名 リュープリン注射用キット3.75mg 医薬品基本情報

薬効	2499 他に分類されないホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	一般名	リュープロレリン酢酸塩キット
英名	Leuplin	剤型	キット類
薬価	23179.00	規格	3.75mg 1筒
メーカー	武田薬品	毒劇区分	(劇)

リュープリン注射用キット3.75mgの効能・効果

子宮内膜症、子宮筋腫の(過多月経、下腹痛、貧血、腰痛)の(筋腫核の縮小、症状の改善)、中枢性思春期早発症、閉経前乳癌、前立腺癌

リュープリン注射用キット3.75mgの使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、診断のつかない異常性器出血	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 粘膜下筋腫、脊髄圧迫による腎障害又はその恐れ・疑い、尿路閉塞による腎障害又はその恐れ・疑い	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

リュープリン注射用キット3.75mgの副作用等

1. 骨塩量低下	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
2. 骨疼痛の一過性増悪、尿路閉塞、脊髄圧迫	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 下垂体卒中、頭痛、視力障害、視野障害	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
4. AST上昇、ALT上昇、肝機能障害、黄疸、糖尿病、糖尿病増悪、心筋梗塞、脳梗塞、静脈血栓症、肺塞栓症、血栓塞栓症	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

5. 更年期障害様のうつ状態、心不全	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
6. 発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、間質性肺炎、アナフィラキシー、うつ状態	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
7. 低エストロゲン症状、ほてり、熱感、のぼせ、肩こり、頭痛、不眠、めまい、発汗、関節痛、骨疼痛、疼痛、注射部位反応、LDH上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	
8. 膿瘍、腫脹、潰瘍、そう痒、肉芽腫、腫瘍、熱感、壊死、注射部位反応、痙攣	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
9. 性欲減退、冷感、視覚障害、情緒不安定、不正出血、腔乾燥、性交痛、腔炎、帯下増加、卵巣過剰刺激症状、乳房疼痛、乳房緊満感、乳房萎縮、手指のこわばり、こわばり、腰痛、筋肉痛、筋痙攣、骨塩量低下、血清リン上昇、高カルシウム血症、ざ瘡、皮膚乾燥、脱毛、多毛、爪異常、眠気、いらいら感、記憶力低下、注意力低下、知覚異常、過敏症、発疹、そう痒、AST上昇、ALT上昇、ALP上昇、LDH上昇、γ-GTP上昇、ビリルビン上昇、悪心、嘔吐、食欲不振、腹痛、腹部膨満感、下痢、便秘、口内炎、口渇、心悸亢進、血圧上昇、赤血球増多、貧血、白血球減少、血小板減少、部分 tromboplastin 時間延長、頻尿、排尿困難、BUN上昇、疼痛、硬結、発赤、疲労、倦怠感、脱力感、口唇のしびれ、四肢のしびれ、手根管症候群、耳鳴、難聴、胸部不快感、浮腫、体重増加、下肢痛、息苦しさ、発熱、総コレステロール上昇、LDLコレステロール上昇、トリグリセライド上昇、高カリウム血症、黄疸、頭痛、不眠、顔面潮紅、めまい、発汗、勃起障害、女性化乳房、睾丸萎縮、会陰部不快感、関節痛、骨疼痛、肩疼痛、腰疼痛、四肢疼痛、歩行困難、皮膚炎、頭部脱毛、血尿、心電図異常、心胸比増大、胸部圧迫感、悪寒、尿酸上昇、血糖値上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
10. 黄疸、体重減少、味覚異常、甲状腺機能異常、筋肉痛、骨塩量低下、下痢、脱力感	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
11. 骨塩量低下	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
12. アナフィラキシー、骨疼痛の一過性増悪、尿路閉塞、脊髄圧迫、流産、胎仔死亡増加、胎仔体重低値、胎仔骨格異常増加、血栓症、良性下垂体腺腫	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

リュープリン注射用キット3.75mgの相互作用

1. 薬剤名等：性ホルモン剤		
発現事象	本剤の効果を減弱	投与条件
		子宮内膜症、子宮筋腫
理由・原因	本剤は性ホルモンの分泌を低下させることにより薬効を示す	指示
		注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.